



## TKK 共通シラバス

1. 科目名	ボランティア活動論				
2. 教員名	岡 正彦	3. 担当大学	東北福祉大学		
4. 対象学年	2年生以上	5. 開講時期	後期	6. 単位数	2単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）					
<p>近年、ボランティア活動にたいする関心が高まっており、その分野は福祉、教育、まちづくり、文化・芸術、スポーツ、環境、災害、国際協力など多岐に渡っている。</p> <p>これからの福祉社会を考えると、一人ひとりが地域における課題を察知・認識し、課題解決に向け主体的に行動・活動することが求められる。</p> <p>本講義では、それぞれのフィールドで活躍する実践者等からボランティア・市民活動の現状と課題、今後の可能性、東日本大震災からみえたボランティアの力などについて多面的に学んでいく。</p>					
8. 授業のキーワード（神）					
9. 授業の進め方（神）、授業の方法（東）					
主題ごとの専門家によるオムニバス形式の授業を展開する。なお、詳細については第1回目に発表する。					
10. テキスト、参考書、指定図書（神）、教科書・参考書等（東）					
レジュメを準備する。					
11. 授業時間外に必要な学修（神）、事前・事後に受講してほしい講義等（東）					
<p>【事前受講してほしい講義等】</p> <p>福祉ボランティア活動Ⅰ</p> <p>【事前受講してほしい講義等】</p> <p>現代社会とボランティア、福祉ボランティア活動Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、災害と社会</p>					
12. 提出課題など（神）					
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）					
評価はレポート試験(70%)・授業態度(30%)とする。					
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）					
<p>ボランティアや市民活動の動向について関心を持ち、考察することで、社会貢献活動やボランティア活動に参加してほしい。また、「福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ」を履修し、理論と実践の融合を図ってほしい。また、3分の2以上の出席がない場合は、試験を受けることができないとともに（欠格条件）、30分以上の遅刻は欠席とみなします。</p> <p>尚、この科目は開講大学以外の学生が履修する場合、オンデマンドでの開講となります。受講の方法などは各大学のガイダンスや講義の中で説明いたしますので、必ず詳細を確認し、履</p>					

修登録を行ってください。

15. 参考（オフィスアワー（工）等）

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回 10/1	オリエンテーション ・大学における学生ボランティア支援 (生涯学習ボランティア支援課)	本学におけるボランティア支援の課題
第2回 10/8	災害ボランティアに学生はどう関わるべきか (仙台市社会福祉協議会 地域福祉課 係長 早川 敏)	仙台市災害ボランティアセンターの実情と課題について述べる
第3回 10/15	災害ボランティアによる復興まちづくり (東北福祉大学 准教授 品田誠司)	
第4回 10/22	ボランティアマナーについて (有限会社ミナ・コーポレーション 代表取締役社長 長久保 美奈)	ボランティアだけでなく就職活動にも使えるマナー及び態度について述べる
第5回 10/29	高齢者支援ボランティア (せんだんの丘 小山 大介 氏)	高齢者支援の実情と課題について述べる
第6回 11/5	医療ソーシャルワークについて考える (仙台市立病院 医療相談室 澤井 彰 氏)	病院における地域・個別支援について述べる
第7回 11/12	ボランティア活動におけるグリーンケアの意識 (せんだい G&A クリニック 院長 滑川 明男 氏)	命の大切さ、ボランティアによる支援について話をいただく
第8回 11/19	子どもの人権を考える (NPO 法人チャイルドラインみやぎ 理事 伊東 智恵子 氏)	子ども支援ボランティアについて述べる
第9回 12/3	SDGs について学ぶ (NPO 法人ふうどばんく東北 AGAIN (あがいん) 副理事 富樫 花奈 氏)	SDGs について詳しく知り、食育やフードロスについて述べる
第10回 12/10	地域の安全安心を考える～防犯ボランティア～ (宮城県警察本部 生活安全企画課 犯罪抑止対策官 小関 修 氏)	宮城県における犯罪と防犯ボランティアについて述べる
第11回 12/17	国際協力とボランティア (公益社団法人 青年海外協力協会 原 正義 氏)	国際協力とボランティアの課題について述べる

第 12 回 1/7	障害者支援ボランティア① ～精神障害者～ (震災こころのケア・ネットワークみやぎ からころステーション 高柳 伸康 氏)	精神障害とボランティアについて述べる
第 13 回 1/14	障害者支援ボランティア② ～知的障害者～ (仙台市手をつなぐ育成会 事務局長 中田 年哉 氏)	知的障害者を取りまくボランティアの状況について述べる
第 14 回 1/21	障害者支援ボランティア② ～身体障害者～ (仙台市障害者福祉協会 事務局長 渡邊 純一 氏)	身体障害者支援ボランティアについて述べる
第 15 回 1/28	レポート試験 (生涯学習ボランティア支援課)	本講義の各種テーマから出題する。

**【コンピテンシー】** ※コンピテンシーについての詳しい説明は[こちら](#)。

(下記に、身につけることが期待されるコンピテンシーを5段階評価でご記入ください。  
期待度が高いほうが5、低いほうが1です。)

コンピテンシー	ポイント
マインド的コンピテンシー	4
成果を挙げるためのコアコンピテンシー	3
受容的コンピテンシー	3
応用的コンピテンシー	4
対人・集团的コンピテンシー	3

コメント